

## 京都の情報

全国そうですが、京都の師走も、あわただしいですね。(^^)



### 南座の顔見世 (みなみぎのかおみせ)

顔見世 (かおみせ) とは、歌舞伎で、1年に1回、役者の交代のあと、新規の顔ぶれで行う最初の興行のことです。江戸時代、劇場の役者の雇用契約は満1年であり、11月から翌年10月までが1期間でした。したがって、役者さんの顔ぶれは11月に変わり、その一座を観

客にみせ、発表するのが顔見世でした。歌舞伎興行において最も重要な年中行事とされています。

現在も11月か12月(10月のところもあるそうです)に全国の劇場(芝居小屋)で行われますが、なかでも京都南座の12月顔見世公演は、最も歴史が古いことで有名で、劇場正面には役者の名前が勘亭流で書かれた「まねき」と呼ばれる木の看板が掲げられ、京都の年末の風物詩となっています。この、「まねき」を見ると、師走だなあと感じてしまいます。

## 着物リフォーム

着物のリフォームをご提案させていただいています。

こちらは、女性用の着物を男性用のアロハシャツに作り変えました。

デザインなどは、ご提案、ご相談させていただけます。

タンスに眠っている着物を、世界で一枚のアロハシャツに作り変えてみませんか。お気軽にご相談ください。



アロハシャツへのリフォーム 21,000円(税込)

京都への旅行のご相談などもお気軽にどうぞ。

虫干しの方法など、お気軽にご相談ください。

着物のクリーニングを承っています。

嵯峨乃や

TEL 0573-28-3171